

# 立命館 言語文化研究

29巻3号

---

## 目次

### 特集「日本の引揚げを地球的文脈からみる」

- 企画趣旨……………西 成彦 ( 1 )
- 『引揚げ文学論序説』を受け止める
- 帝国崩壊と戦後日本のなかの「帝国経験」……………蘭 信三 ( 3 )
- 引き揚げる多重主体性の加速度をめぐって……………小倉紀蔵 ( 13 )
- 『引揚げ文学論序説』へのコメント……………熊木 勉 ( 21 )
- 境界地域史研究から考える引揚げ文学論の意義……………中山大将 ( 25 )
- 引揚げと「未引揚げ」のあいだ  
——朴裕河『引揚げ文学論序説』を手がかりに——……………原 佑介 ( 33 )
- 応答……………朴 裕河 ( 45 )
- 質疑・総合討論…………… ( 53 )
- 戦争の終わりとは引揚げ／強制移住／故郷喪失
- 引揚げ文学論の可能性と意義  
——帝国史とトランスナショナル・ヒストリーの視点から……………浅野豊美 ( 67 )
- ドイツ人の「追放」、日本人の「引揚げ」  
——その戦後における語られ方をめぐって——……………佐藤成基 ( 75 )
- ドイツ人の東欧からの引揚げや故郷喪失をめぐる文学……………永畑紗織 ( 91 )
- 故郷喪失のポーランド文学……………田中壮泰 ( 103 )
- 「引揚げ文学」の問いを開く……………鵜戸 聡 ( 109 )
- コメント……………朴 裕河 ( 117 )
- 質疑・総合討論…………… ( 121 )

## 特別寄稿

Encyclopedias, hive minds and global brains

A cognitive evolutionary account of Wikipedia ..... Jos DE MUL (143)

## 個別論文

日本文化における「声」..... Gudrun GRÄWE (155)

カウンターカルチャーとしての旅

——社会運動のツーリストティックな側面を通じて..... 富永京子 (175)